

様式 3

町民の皆さんから寄せられたご意見及び境町の考え方

平成26年2月18日(火曜日)～平成26年3月4日(火曜日)までの15日間、町民の皆さんから「境町洪水ハザードマップ(素案)」に対する意見を募集しました。

この期間、町民の皆さんから寄せられたご意見及びご意見に対する当町の考え方は次のとおりです。

地域防災計画について

意見等の趣旨	意見に対する町の考え方	修正内容
<p>1. 先ずは、この洪水ハザードマップがどこの河川氾濫を想定して作られているかを分かりやすく明示しておく必要があると思います。</p> <p>見れば分かるではなく、そのような明示をしておくことが大切です。「PDF 2-2」の詳細な説明においても利根川洪水を想定しているとの記述が見え難い内容です。</p> <p>参考ながら。古河市の場合は、表紙のサブタイトルで「利根川・渡良瀬川がはん濫した場合に備えて」と明示されております。坂東市のそれは、タイトルそのものが「利根川洪水ハザードマップ」と大きく表示されております。</p>	<p>ご指摘のように、「洪水ハザードマップ」だけでは、利根川洪水を意識してもらいにくに点があるかと思えます。</p> <p>したがって、利根川洪水時を想定したものである記述を表紙に追加することとしたいと思います。</p>	<p>表紙に、「利根川がはん濫した場合に備えて」というサブタイトルをつけさせていただきよう修正させていただきます。</p>
<p>2. 洪水ハザードマップ(素案)の全容としては、町全域の浸水予想一覧図に加えて、地区に分割して示していることは長短あると思われま。ハザードマップが非常時に使いやすいことをもとめるならば、紙数の少ない(出来れば裏表1枚)ものが便利ではないでしょうか。</p> <p>古河市、坂東市のハザードマップが1枚様式です。ちなみに、坂東市では旧ハザードマップが地区ごとになっていたものを新しく1枚ものとして整理しなおされております。</p> <p>また、素案では全体図と地区ごとの図の情報が同じです。単なるスケールアップにならな</p>	<p>ハザードマップは、冊子版の巻末にA1サイズの1枚ものの図面を添付することを想定しております。</p> <p>事前の準備のために必要な情報を確認してもらうことを重視した冊子版、非常時に持ち歩けることを想定した1枚もののマップと2種類を合わせたものとしました。</p> <p>冊子版では、自分の自宅の位置がわかるようなスケールに配慮するとともに、全体図の入ったA1拡大版では、広域的な視点で避難方向を考えられるようにしたものです。</p>	<p>使用される住民の方々への使い勝手を考慮して、冊子版の中にA1版の1枚もののマップを挿入した体裁とさせていただきます。</p> <p>非常時にA1版の1枚ものだけを持って使えるよう、マップ上には避難所など必要最小限に抑えけるとともに、両者のマップ上に掲載する情報は基本的には同じにさせていただきます。</p>

<p>いたためには、拡大に応じた避難判断に資するより詳細な情報を盛り込むようにしてはいかがでしょうか。</p>		
<p>3 .このような視点でPDF 2-3「境地域の防災マップ」をながめると、狭い地域に限定された浸水域図の表示になっております。</p> <p>住民が安全な場所に避難する際には、避難しやすい他の地域と併合した地図にすると使いやすいと思われかもしれませんがでしょうか。</p>	<p>境地域は、浸水深も5m以上のエリアが含まれているほか、町の中でも人口密度が高く、建物が密集している地域です。</p> <p>そのため、民間の3階建て以上の一時避難所を掲載するなど、他の地域に避難できない人のことも考慮し、狭い範囲ですが、可能な限り縮尺を大きくとって掲載したものです。</p>	<p>冊子版では、事前に避難方法等を考えてもらうことを想定して作成しております。</p> <p>境地域の特性を考えると、広域的な避難だけでなく、逃げ遅れた場合の方法も考えていただきたいことから、境地域はこのままの範囲で掲載させていただきたいと考えます。</p> <p>なお、地域の外に避難を考える際には、A1版の1枚もののマップを活用してもらうよう、文章に記載をさせていただきたいと考えます。</p>
<p>4 .防災モデル地区に指定された静地区の防災マップが見当たりませんがいかがなものでしょう。</p> <p>「利根川の境町内上流部で破堤した場合のシミュレーション」に示されている“静地区11P”は静地区を対象とした防災マップのページ表示と思われかもしれませんがいかがですか。</p> <p>仮に、静地区がないのであればどのような理由によるものでしょうか？他地区とのバランスを欠いたものになります。さらに、この静地区内での破堤シミュレーションを提示しているだけに、より詳細情報が求められるのではないのでしょうか。</p>	<p>静地域は、利根川隣接部一帯と宮戸川・長井戸沼中央排水路方面に沿って浸水深が5m以上となるエリアも広いことから、浸水危険性の高いエリアとなっています。</p> <p>しかし、境地域などの市街地と比較し、避難所の数が少ないことから、早めの避難が特に求められる地域であり、町外の北東方面(古河市方面)や五霞町方面へと避難することを意識してもらう必要があると考えています。</p> <p>このような地域の特性を理解してもらうためにも、静地域のマップも重要なものであると考えます。</p>	<p>冊子版では、静地域も追加させていただくこととします。</p>
<p>5 .境町の浸水範囲は広範囲であるだけに隣接する古河市と坂東市への避難を余儀なくされることを想定した洪水ハザードマップを作る必要があります。このようなマップとしては、境・古河・坂東の洪水ハザードマップを併合することが適切と考えます。</p> <p>仮に、これが「PDF 3」に相当するならば限定された範</p>	<p>2番目のご意見の回答でも記載しましたが、ハザードマップは、冊子版の巻末にA1サイズの1枚ものの図面を添付することを想定しています。</p> <p>巻末に添付しますA1サイズの1枚ものについては、縮尺を見直すとともに、凡例などの情報掲載位置も見直しをさせていただきます。</p>	<p>縮尺については、A1サイズでは1/20,000として、古河市の一部・坂東市の一部・八千代町の一部が入るような範囲に見直しを行います。</p> <p>凡例については、町外に避難するエリアにかからないよう見直しを行います。</p>

<p>困であり、避難情報としては極めて不足したハザードマップです。</p> <p>さらに、「PDF 3」の図では古河と坂東の範囲内に説明記述が配置されているために、必要な地図情報が見えなくなっております。地図本来の機能を優先させて、説明は必要最小限にするとか、例えば「PDF 2-7」へ移動するなどの工夫がされてはいかがでしょうか。</p>		
<p>6. 図中の解説記述に説明に配慮を要すと思われる内容があります。住民に分かりやすい表示を望みます。</p> <p>例えば) 大きな矢印 : 避難方向? mm/h : 一般の人にわかりやすい時間雨量</p>	<p>ご指摘のようにハザードマップの中の表現は、誰もがわかりやすくなければならないと考えております。</p> <p>そのため、ご指摘の部分については、一般の人にわかりやすいよう工夫に努めたいと思います。</p>	<p>「大きな矢印」については、各地域別に凡例をつけているので、その中に記載したいと考えております。</p> <p>「mm/h」の表現は、注意報・警報などの発表基準の部分で使用しておりますが、1時間に mm といった雨の降り方についてイラストで解説した部分と一体的に表現するなど、わかりやすさに配慮したものにしたいと思います。</p>
<p>7. 利根川「八斗島水位」のみが示されています。これは境町での避難判断等に使うとする意図でしょうか。表示の目的が不明です。なお、境町住民にとって「八斗島」そのものが馴染みが薄く、その意図を理解するには至っていないと思われま</p> <p>す。</p> <p>古河市のハザードマップでは洪水水位の記載は見当たりません(利根川と渡良瀬川、思川等が隣接しているにもかかわらず!!)。坂東市のハザードマップでは、近傍の「芽吹橋水位」における洪水水位が表示されています。</p> <p>近年の豪雨と境町沿川地域における利根川河川水位の関係では、八斗島水位との位相性を考慮しても相関性は高いとは思われない事象が発生しております。水防活動や避難判断をするために監視する洪水水</p>	<p>パブリックコメント時の資料では、上流部の「八斗島水位」のみを掲載していましたが、ご指摘のように町民の方々に対して理解されにくい部分もあるかと思えます。</p> <p>そのため、境町近傍の洪水水位も記載することとさせていただきます。</p>	<p>境町の上流部近傍の「栗橋」(久喜市) 境町下流部近傍の「芽吹橋」(野田市)を掲載するとともに、上流部の「八斗島」(伊勢崎市)の3箇所に関する水位を掲載させていただくこととします。</p>

<p>位としては、近隣では栗橋観測点、古河（渡良瀬川）観測点、さらには関宿（塚崎）観測点に注意をはらうことと同時にハザードマップへの記載を検討されてはいかがでしょうか。</p>		
--	--	--